

はじめに

一本書を手にとってくださった皆様へ

世界規模のパンデミックの発生により、多くの企業は在宅ワークを導入し、会議もリモートが主流になりました。パンデミックが一段落した後も、Zoomなどを活用したウェブ会議が日常茶飯事的に実施されています。

特に多人数が参加するような英語のオンライン会議では、相手の表情や反応の把握が難しく、また、通信事情によっては音声聞きづらいなど、コミュニケーションの難易度がさらに高くなってしまいます。

間違いを恐れずに、主張すべきことは積極的に主張して、納得の行くオンライン会議にするためには、役立つフレーズや言い回しなどを事前に身につけて、準備しておくことが重要と考えます。

本書では、さまざまなビジネス分野に応用できそうなフレーズを、できるだけ多く選ぶよう心がけました。ですが、これらはあくまでも会話のきっかけに過ぎません。願わくば、このきっかけをもとに、よりスムーズに会話が進み、より専門的な領域の議論へ展開していくことを期待しています。

本書が少しでも皆様のご活躍の一助になれば、これほど嬉しいことはありません。

著者・編集者一同

寺尾 和子 千葉大学薬学部卒業 薬剤師 英検1級

大手製薬企業(国内&外資系)、大学病院薬剤部勤務等を経て、医学出版業界に転向(国際的医学出版社)。その後1997年に独立して小規模医学出版社メディカルパースペクティブス(株)を設立。医薬品業界の情報誌(日・英二カ国語)を創刊し、ロンドンに英国オフィスを開設(1998～2008)。国際医学会議取材・医療記事の執筆のほか、一般書として『書きたい表現がすぐに見つかる英文メール』(共著)、『救済 マイケル・ジャグソン』(訳)、『ネイティブ表現が身につく英会話』(共著)などがある。健康増進のための医療関連の情報収集・分析と英語をライフワークとする傍ら、人に見捨てられた猫達の保護活動を日常としている。

柳川 史樹 薬剤師 薬学博士

薬剤師国家資格、薬学博士取得後、ハーバード大学一マサチューセッツ工科大(Harvard-MIT)共同健康科学技術部門へ研究留学。帰国後、日本企業による研究費 留学生賞をはじめ、研究助成のための様々な助成金取得プロジェクトに貢献。次世代の創業技術開発および動物実験代替法*の確立を目指すべく、国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)にて特別研究員として、再生医療、組織工学、創業研究等の研究に従事。その後、日本企業に転職し、米国での新規事業立ち上げに携わり、現在に至る(米国ボストン在住)。

*動物を使わずに、ヒトの細胞や組織などを用いて高度な技術を駆使して安全性や有効性等の試験を行う方法

クリステン・ラウンズ カナダ出身、結婚して米国ボストン在住、二児(娘)の母。心理学と人事管理を学んだのち、TEFL(Teaching English as a Foreign Language 外国語としての英語教師の資格)を取得、日本滞在中は英語教師としての経験を持つ。絵画、イラスト、グラフィックデザインなど、ビジュアルアートや応用美術に優れた才能を持つ。現在は育児に専念するかたわら、パートタイムで書籍や研究論文の編集を行い、自由時間には英語を教えている。音楽と動物を愛し、娘達が大きくなれば、まだ見ぬ景色を求めて家族旅行することを楽しみにしている。